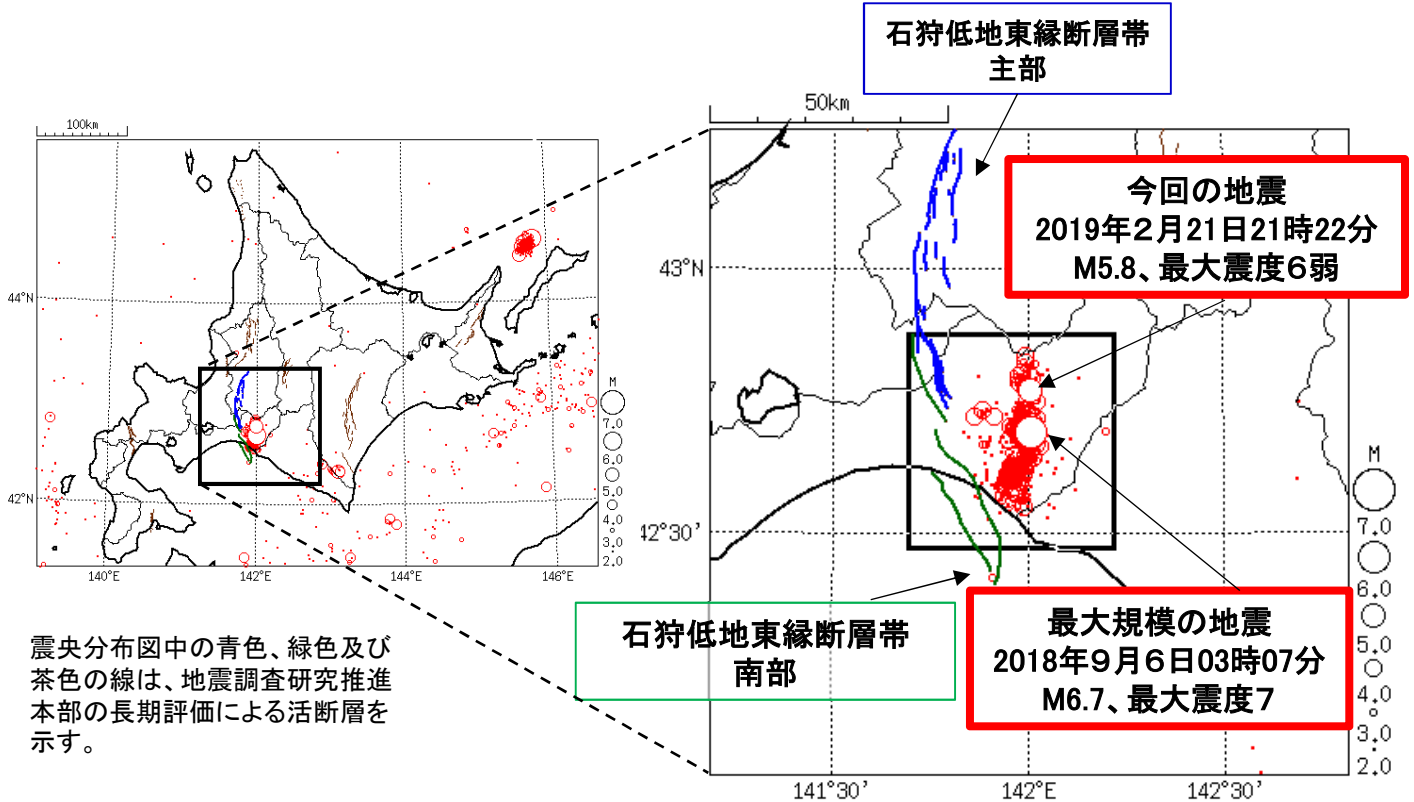


「平成30年北海道胆振東部地震」 地震活動の状況（2月21日22時00分現在）

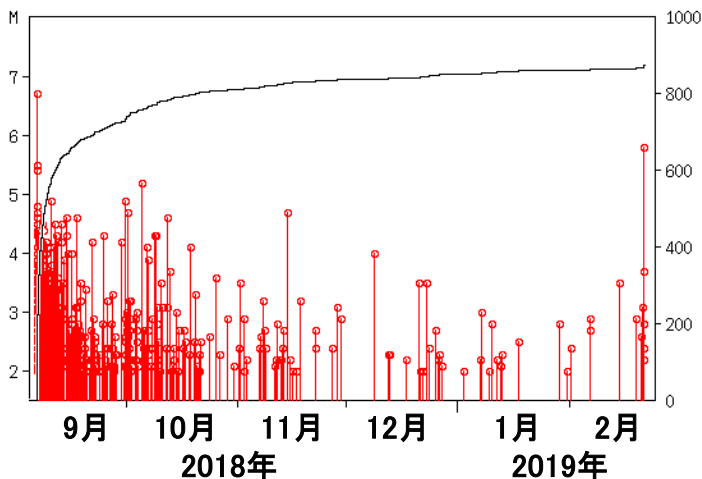
震央分布図

（2018年9月6日00時00分～2019年2月21日22時00分、 $M \geq 2.0$ 、深さ0～60km）

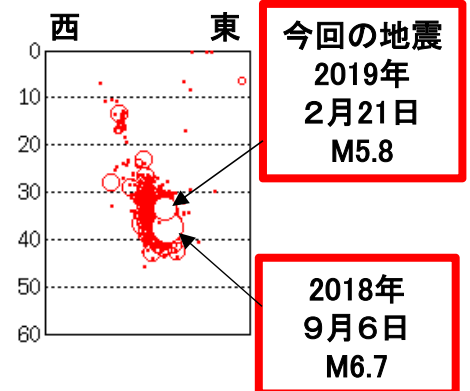


震央分布図の矩形内の地震活動経過図及び回数積算図

横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものを示す。



震央分布図の矩形内の断面図（東西投影）



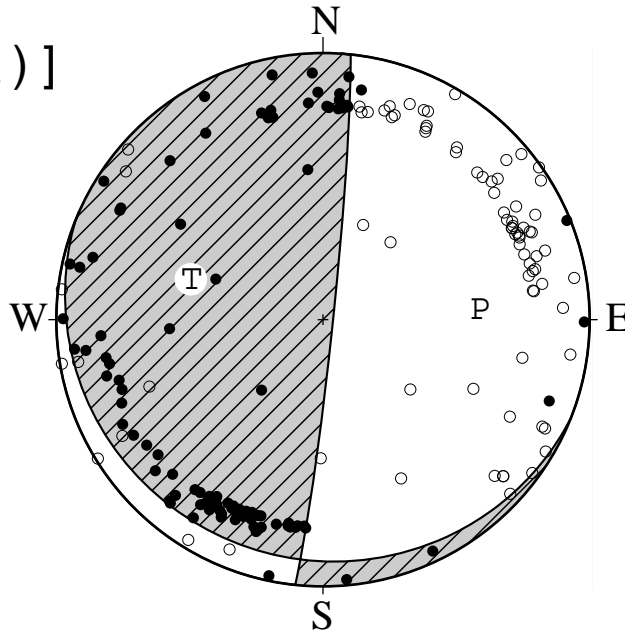
＜本資料の利用上の留意点＞

- ・2月21日の震源は今回の地震を除いて精査前の震源で、自動処理による結果を含みます。
- ・自動処理による震源には、発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

平成31年02月21日21時22分頃の地震の発震機構解 初動解(速報)

東西方向に圧力軸を持つ型

[初動解(速報)]

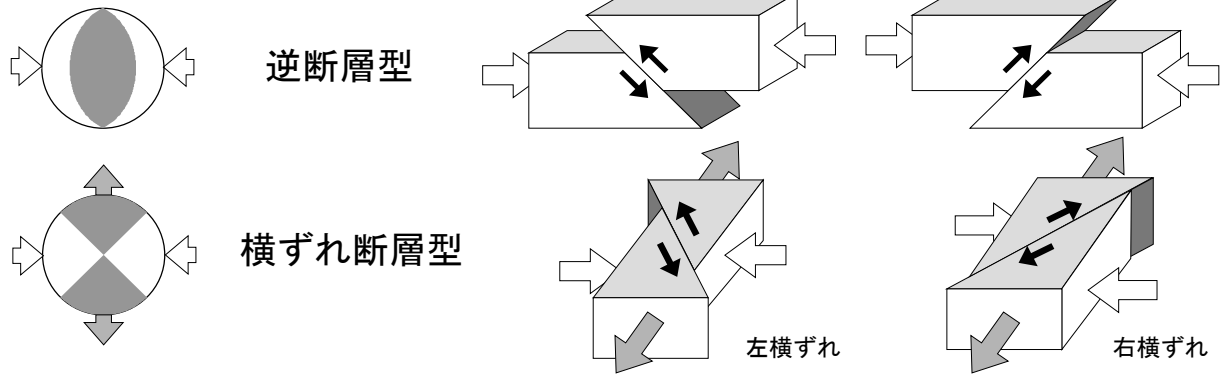


下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

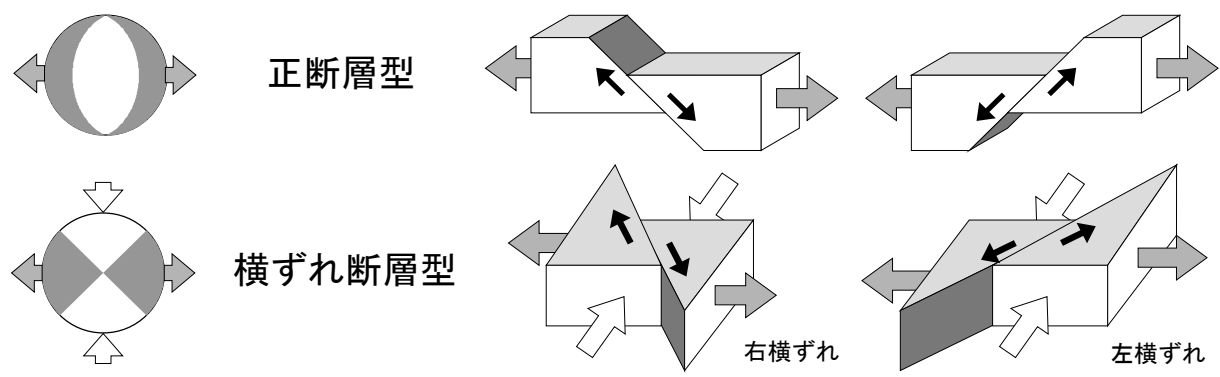
● は初動が上向きの観測点、 ○ は初動が下向きの観測点を示す。

発震機構解 [初動解] について

圧力軸に注目した場合の例



張力軸に注目した場合の例



⇨ ⇩ 圧力 (押す力) ⇨ ⇩ 張力 (引く力) ⇨ ⇩ 断層がずれる方向